

シンポジウム「スポーツと教育ーオリンピックを考えるー」

国見保夫

玉川学園・玉川大学
健康・スポーツ科学研究紀要
第15号

第2回シンポジウム「スポーツと教育 -オリンピックを考える-」

玉川大学教育学部健康教育研究センター主催

平成26年12月6日(土)13:30～

玉川大学5号館247教室

趣旨

2020年オリンピック/パラリンピックが東京に決定して1年が経過し、その準備に関する様々な動きがニュースになっています。東京都では、児童・生徒が五輪の意義や参加国の歴史、文化を学ぶ「オリンピック教育」を来年度より始めるよう「オリンピック教育推進校」として300校を指定しました。

今の児童・生徒は、平和の祭典であるオリンピック/パラリンピックに観戦者としてはもちろんのこと、選手として、ボランティアとして参加する可能性を持っています。東京大会が成功するか否かは子どもたちを含め、都民がオリンピック/パラリンピックの理念を理解し、積極的にそれぞれの立場で関わっていくことが大切です。

本研究センターでは昨年に続きオリンピアンを招き「スポーツと教育」を主題に、オリンピック教育について考える機会を設定しました。これを機会にオリンピック成功の大きな鍵を握る『オリンピック教育』について大いに議論したいと思います。

シンポジスト紹介および講演内容

・首都大学東京 教授 舛本直文氏

テーマ：「オリンピックとは何か？ 1964年東京大会から2020 TOKYOへ」
専門はスポーツ哲学、スポーツ映像文化論、オリンピック研究。1950年広島県生まれ。1977年東京教育大学大学院修了。筑波大学、東京都立大学を経て、2007年より首都大学東京教授。博士(体育科学)。NPO法人日本オリンピック・アカデミー理事(研究委員会委員長)。東京都教育庁「東京のオリンピック・パラリンピック教育を考える有識者会議」(副委員長)。

オリンピズムとは、各スポーツ種目団体によって開かれるワールドカップのような単なるメダルの奪い合いではなく、「スポーツ、文化、環境」を3本柱とした祭典です。そこには教育思想、平和思想の反映としての価値があります。

オリンピックには、実施される価値があるとともに、レガシー(遺産)としての価値があり、それらを大切にすべきであると考えます。1964年に開催された東京オリンピックでは、

■報告■

スポーツレガシーとして多くのスポーツ少年団やママさんバレーチームが生まれ、水泳教室ブームが巻き起こりました。また、文化レガシーとして、パラリンピックの「パラ」が、「パラプレジア（四肢麻痺）」という言葉の概念から「パラレル（もう一つの）」に変化して現在に受け継がれています。このような内容について、オリンピック読本を通して多くの小学校の生徒が学ぶことを念頭に、記録映画「東京オリンピック」が作成され後世に残されました。

2020年の東京オリンピックでは、「Discover tomorrow」の視点から社会を変える好機と捉え、オリンピックレガシーを長期的な視野で計画的に肯定的なものを残す必要があると考えます。特に「成熟した人間の育成」を掲げヒューマンレガシーとして残すこと、そしてグローカリズム（ローカルなもののグローバル化）を残すべきでだと考えます。

2020年東京オリンピックの課題は、スポーツの持つ力で東京の街作りと本当の意味での東北の復興を果たすために一致団結して成功させたいものです。

・スケルトン選手 オリンピック代表 越和宏氏

1964年長野県生まれ。全日本スケルトン選手権大会で1998年から連覇。1997-1998年、2000-2001年シーズンにおいてはワールドカップ総合成績2位。2002年（ソルトレイクシティ）、2006年（トリノ）、2010年（バンクーバー）のオリンピックに3大会連続出場。ソルトレイクシティオリンピックでは8位入賞。バンクーバーオリンピックには冬期オリンピック日本人史上最年長の45歳で出場。その後、指導者として後進の指導にあたる。

オリンピックレガシーの一つである施設の利用に問題を感じます。スケルトンというマイナーな競技を行う施設は、今長野県では厄介者扱いをされていて、毎年のように撤去すべきとの意見が出されています。しかし、この施設はボブスレー・リュージュ・スケルトン競技のアジア・オセアニアで現存する唯一のコースで有り、また、世界最南端のコースとして知られています。そのため、アジア各国の競技団体から利用希望が多く寄せられているのです。

2020年東京オリンピックでは、多くの人が生で観て、肌でその興奮を感じることも大切であると思います。また、できるだけ多くの若者が選手として、支える立場で、観る側としてどのような立場でもかまわないからオリンピックに関わり、東京オリンピックを成功に導かなければならいと考えています。

オリンピックには人の心を揺さぶるエネルギーがあふれ、人を変える、社会を変える、国や地域を変える力があります。